「百害あって一利なし」のコロナワクチン接種をやめましょう！
子ども達と若者へのコロナワクチン3回目接種に反対します！

《コロナワクチンは過去に例を見ない史上最悪の「薬害」です》

2022年6月10日　厚生労働省発表　コロナワクチン副作用

6歳　　4名
7歳　　10名（重篤1名）
8歳　　10名（重篤2名）
9歳　　8名（重篤3名）
10歳　　20名（重篤3名）
11歳　　17名（死亡1名、重篤2名）
12歳　　126名（重篤48名）
13歳　　119名（死亡2名、重篤44名）
14歳　　133名（重篤45名）
15歳　　156名（重篤51名）
16歳　　143名（死亡2名、重篤43名）
17歳　　168名（重篤37名）

子ども達へのコロナワクチン接種が始まってまだ３カ月でこの惨状です。副作用による健康被害は日を追う毎に拡大しています。6月22日にファイザー社は、5～11歳の子ども達へのブースター接種の申請を厚生労働省へ提出しました。この秋にも子ども達へのブースター接種が開始されるでしょう。そしてさらに被害は拡大の一途をたどることになるでしょう。

米FDAが6月15日に生後6ヶ月以上の乳幼児へのmRNAワクチン接種を承認し、21日からワクチン接種事業が開始されています。今回も緊急使用許可の承認、つまり正式承認ではなくあくまでも「緊急事態状況下での使用許可」です。

いずれ日本でも乳幼児へのコロナワクチン接種へ向けた準備が始まるでしょう。

《全国の保護者の皆さま、よく考えて下さい》

子ども達にコロナワクチンを緊急で使用しなければならないほど差し迫った事態が起きていますか？

今年2月にジャーナリストの鳥集氏がまとめた情報（右図）が示すとおり、子どもや若者はこの２年半でコロナ感染ではほとんど死亡していません。コロナ死亡とされている例には、直接コロナ感染によるものではなく、もともと重篤な疾患を患っていた子どもや、交通事故で死亡した後にPCR検査陽性になった人も含まれています。

むしろ若者はワクチンによる被害の方が大きいのが実情です。

感染後・接種後それぞれの年代別重症者数と死亡者数

ジャーナリスト鳥集徹氏　作成（一部改変）

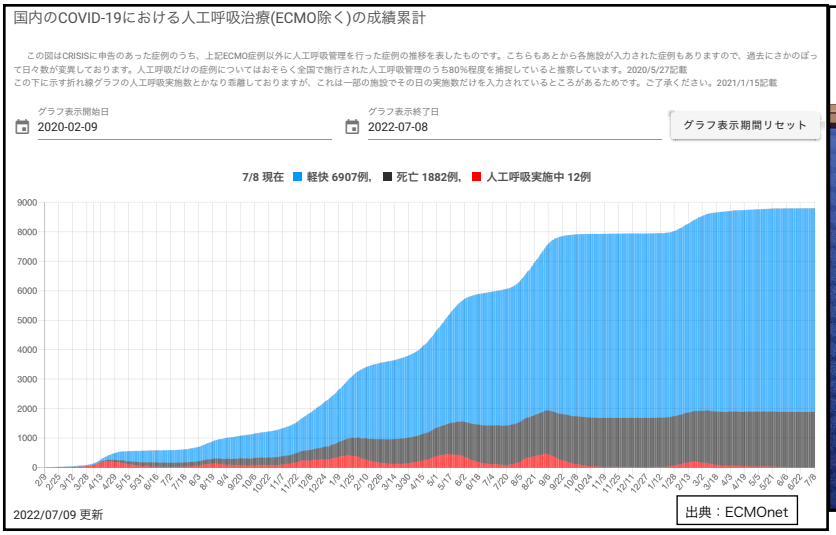
	コロナ感染		ワクチン副反応	
	R2年9月2日～R4年1月18日		R4年1月21日時点	
	重症者数	死亡者数	接種後重篤報告数	接種後死亡報告数
10代	6人	4人	387人	5人
20代	57人	26人	713人	27人
30代	180人	82人	748人	26人

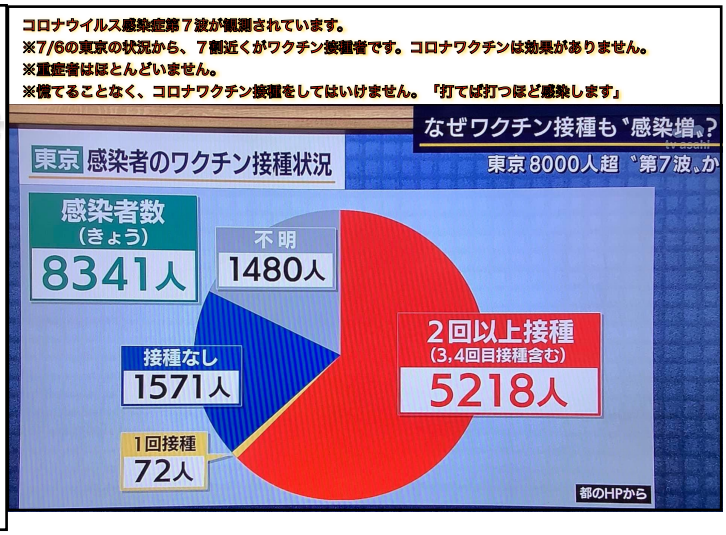
若年になるほど、コロナ重症者数よりもワクチン接種後の重篤報告者数が上回っていく

10代・20代では「感染」より「接種後」の死亡者の方が多い

現在流行しているオミクロン株はインフルエンザ以下の弱毒ウイルスで、世界の国・地域でコロナ対策をしているところは**日本と中国だけ**になっています。実は今の日本の感染対策を含めた状況が異常なのです。この異常な状態の中に日本に暮らす人々が置き去りにされ、「恐怖感で支配」されていることを知らなければなりません。

またコロナワクチンが子ども達の未来を奪う可能性を持っていることを知って下さい。ブースター接種を繰り返すことで人間の身体がどのような影響を受けるのか、世界中から多くの否定的なデータが寄せられています。そして繰り返しのワクチン接種は、コロナウイルスの「免疫逃避」による変異を加速させ、さらなる変異体の出現を促すことも解明されています。結局、コロナワクチン接種を繰り返している限り「ウィズコロナ社会＝元の安心な社会」を取り戻すことが益々困難になるのです。





7月にはいり、オミクロンBA5変異体の感染拡大によるPCR陽性者の増加傾向がみられます。7月6日の東京都のホームページのデータ（上記右）が示すとおり、7割近くがコロナワクチン接種者であり感染予防効果はありません。また全国の医師達から「現在のオミクロンBA2・BA5変異体感染と思われる症例のほとんどが３回目接種後の方達である」という情報も寄せられています。

またECMOnetのホームページ（上記左）から第６波オミクロン株の流行以降は圧倒的に重症化する人は減少しています。BA5変異体も重症化することはほとんど無いため、政府・厚労省が言う「重症予防のためのワクチン接種」は意味がなく、リスクを伴うだけのものとなります。

《史上最悪の「薬害事件」が現在進行している！》

これは過去に例を見ない史上最悪の「薬害事件」なのです。
世界中で薬害裁判が始まっています。日本でも裁判の準備が始まっています。
私たち全国有志医師の会はコロナワクチン接種事業の即時中止を求めます。
特に子ども達、若者へのコロナワクチン接種はメリットがないばかりでなく、甚大な被害をもたらしていることから、ブースター接種に強く反対します。

2022年7月9日

全国有志医師の会
Volunteer Medical Association